

調布駅前広場整備計画図素案

日頃から、調布市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

調布駅前広場の整備については、令和7年度の完成を目指して整備を進めています。

これまでの検討の経緯や市民の皆さんからいただいた声を踏まえ、令和7年度の完成を前提に、南側ロータリーの一部を修正し、ロータリー計画図が決定しました。

今年度は、南北ロータリー一部分以外の歩行空間(環境空間)について市民の皆さんのご意見を伺うため、市民参加を実施しています。

平成25年7月作成の調布駅前広場検討図の考え方

- 『交通結節機能』のみを重視するのではなく、『環境空間としての広場機能』を併せもつ駅前広場とする。
- 『環境空間としての広場機能』には、4つの機能をもたせて各施設等を配置する。

調布駅前広場 機能

道路としての交通結節機能

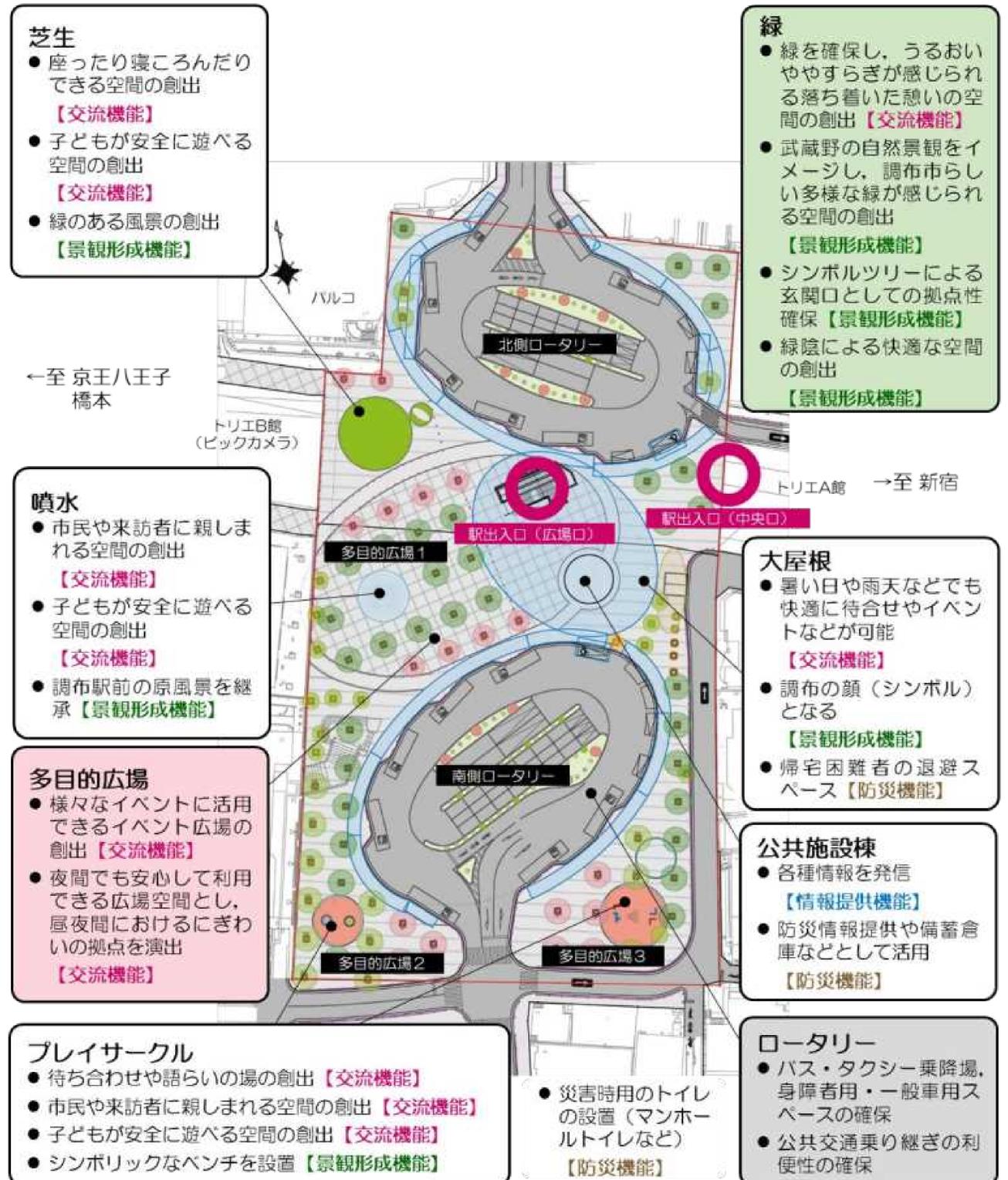
環境空間としての広場機能

① 交流機能

② 景観形成機能

③ 情報提供機能

④ 防災機能



道路としての交通結節機能について

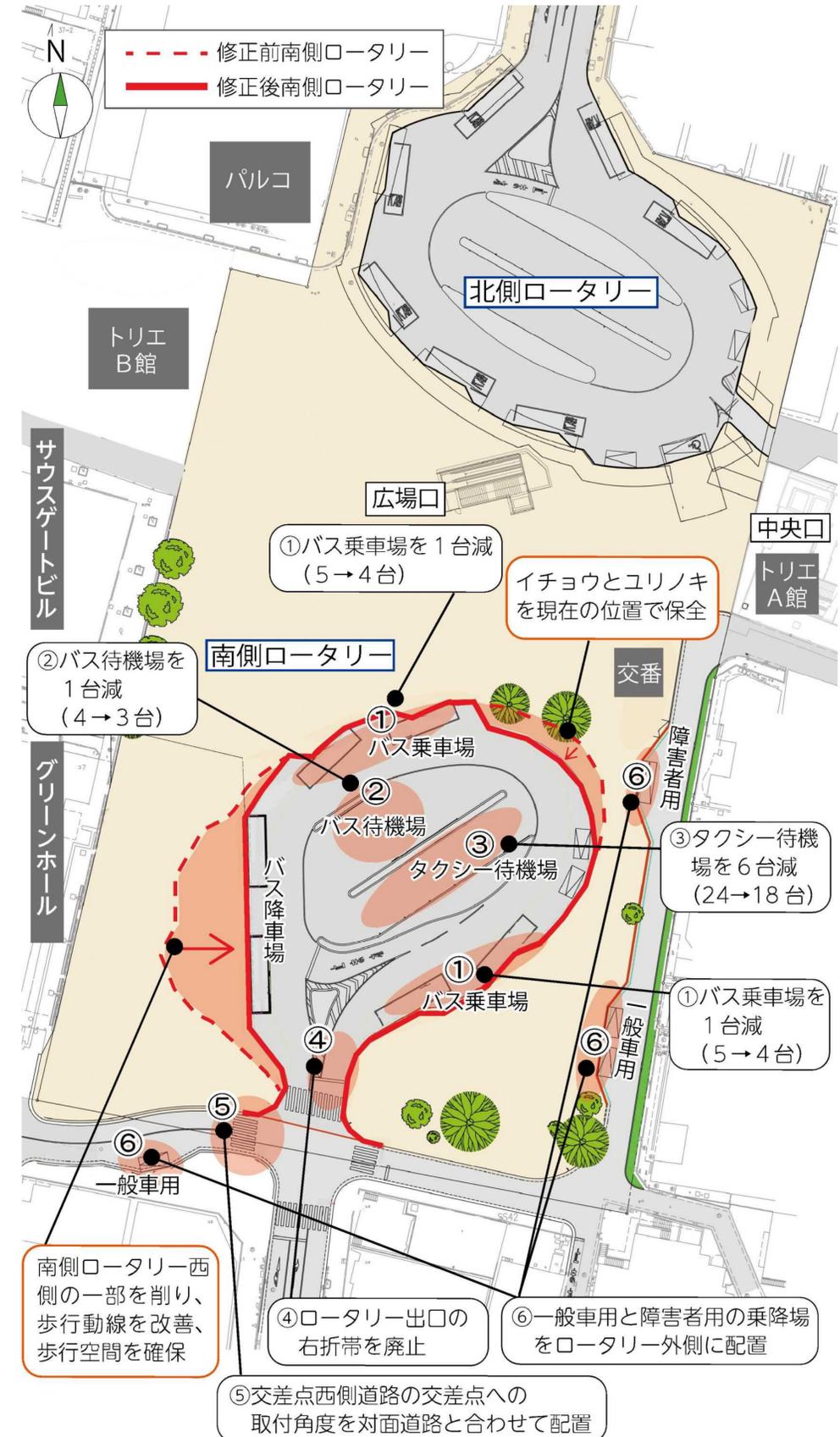
○これまでの検討や市民の皆さんからいただいた声を踏まえ、南側ロータリーを一部修正し、**ロータリー計画図が決定。**

南側ロータリー 一部修正の検討の前提条件

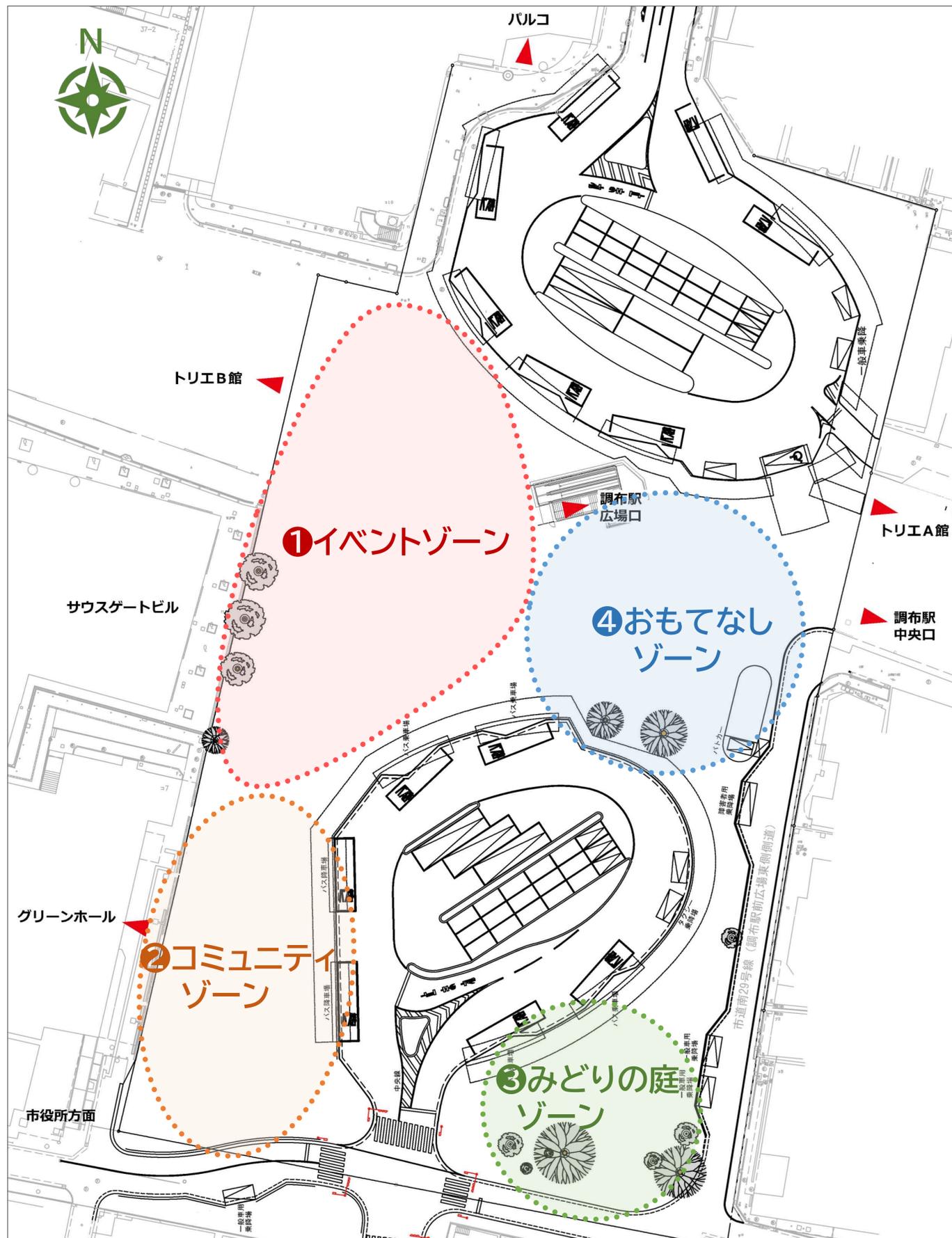
(令和元年度実施の市民参加で決定)



ロータリー計画図



環境空間としての広場機能について(ゾーニング)



①イベントゾーン

- ハレの場として賑わいや交流を創出する空間
- 日常の憩いや交流を創出する空間

②コミュニティゾーン

- 品のある落ち着いた空間
- 子どもからお年寄りまで誰もが憩い・くつろぐ空間

③みどりの庭ゾーン

- テナントビル等と緩やかに分節する空間

④おもてなしゾーン

- 市の新たな顔・玄関口としての雰囲気演出する空間

調布駅前広場 各ゾーンの整備イメージ

① イベントゾーン

空間特性

- 大型の商業・業務機能(パルコ・トリエ・サウスゲート)に囲まれている
- まとまった大規模な広場空間がある
- 調布駅前広場口, 南北ロータリーへの主要動線が位置する

しつらえの考え方

- 周辺の商業・業務と連携したハレの場(非日常)としての賑わいや交流を創出する空間づくり
- 日常の憩いや交流を創出する空間づくり

空間の使われ方のイメージ

- ハレ(非日常)の場
 - スポーツ観戦等のパブリックビューイング(例:ラグビーW杯2019)
- 日常の利用
 - キッチンカーやマルシェ, オープンカフェ等の実施



③ みどりの庭ゾーン

空間特性

- 南側にマンションが立地する
- 東側に遊技場, テナントビル(飲食等)が立地する
- 3方向を車道に囲まれている

しつらえの考え方

- 東側のテナントビル等と緩やかに分節する空間づくり
- 歩行者の通行空間として確保する

空間の使われ方のイメージ

- 歩行者動線
- 一般車の乗降場
- 木陰で休憩・くつろぐ



② コミュニティゾーン

空間特性

- 西側に文化・芸術機能の立地がある
- 一定の中規模な広場空間がある

しつらえの考え方

- 文化芸術の雰囲気にかわいらしい, 品のある落ち着いた空間づくり
- 子どもからお年寄りまで誰もが憩い・くつろぐ空間づくり

空間の使われ方のイメージ

- 調布市役所やグリーンホールに用事のある親子が木陰でひと休み
- 駅前での待ち合わせや語らいの場



④ おもてなしゾーン

空間特性

- 調布駅中央口前面のまとまった広場空間がある
- 南北ロータリーへの主要動線が位置する

しつらえの考え方

- 市の新たな顔・玄関口としての雰囲気演出する空間づくり
- 調布市ゆかりの樹木や四季の移ろいを感じることのできる樹木を配置する

空間の使われ方のイメージ

- 市内外の多様な人々が行き交い, 調布市の自然や文化などの趣きを感じる



昨年度実施した調布駅前広場行動調査の結果

○令和元年度に実施した調布駅前広場行動調査の結果より、**歩行者、自転車ともに調布駅中央口とトリエB館方面を結ぶ東西方向の通行が多い**ことが明らかになった。

歩行者動線

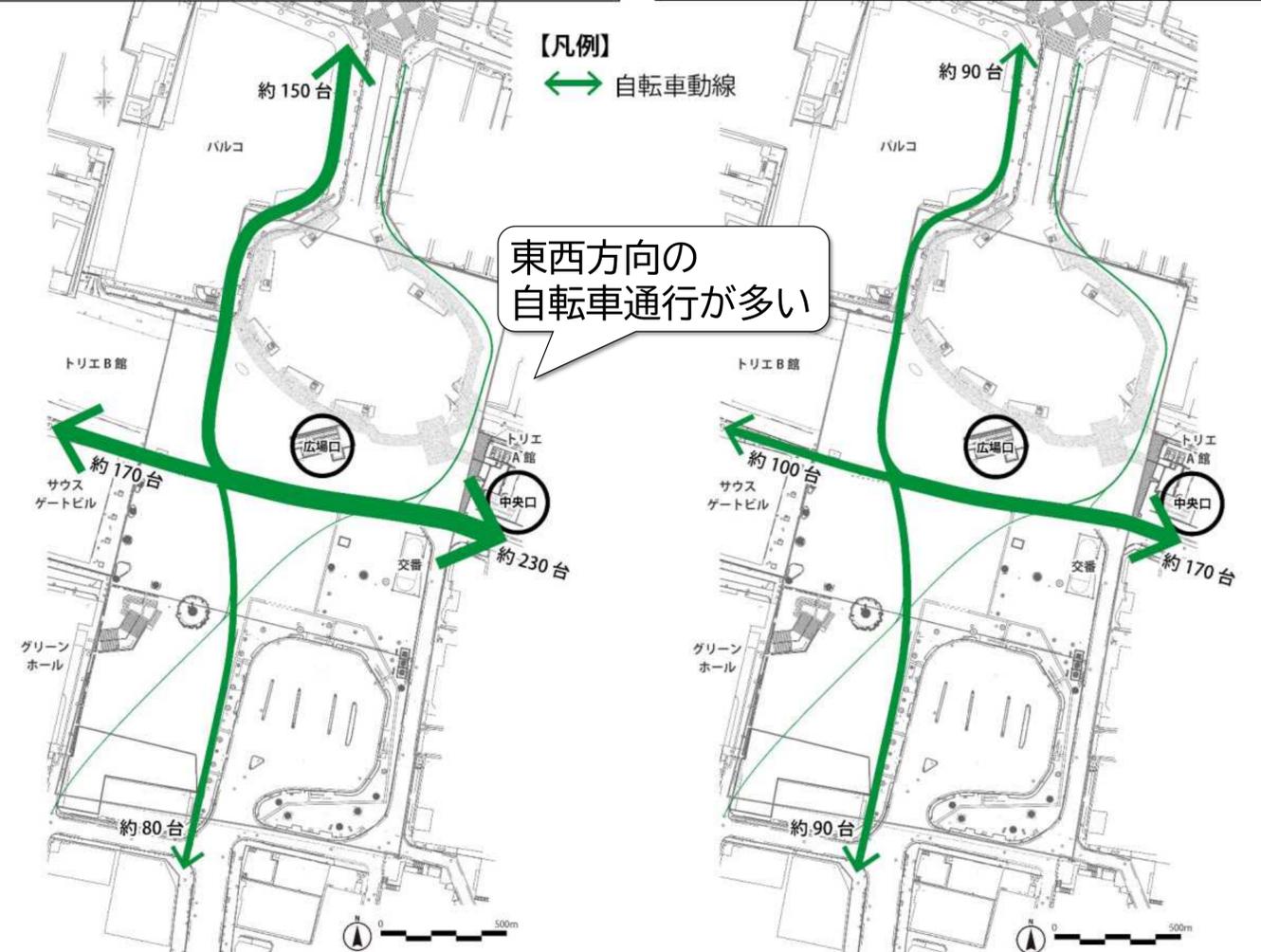
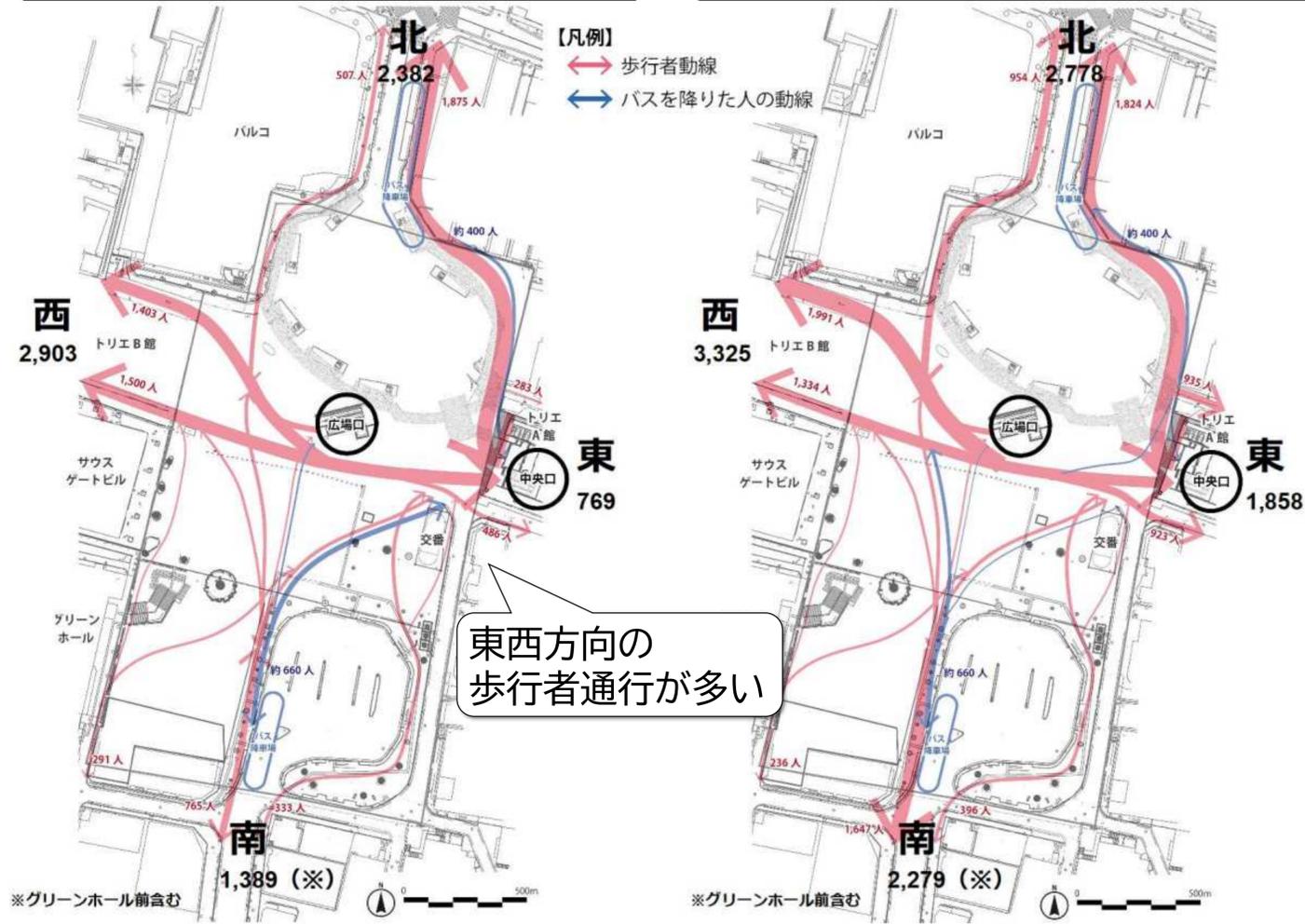
自転車動線

現在の歩行者動線（平日朝）

現在の歩行者動線（休日昼）

自転車動線（平日夕方1時間あたり）

自転車動線（休日昼1時間あたり）



【特徴】

- 平日・休日ともに、**調布駅中央口と西方向(トリエB館方面)、北方向(特に東側歩道)を結ぶ通行が多い。**

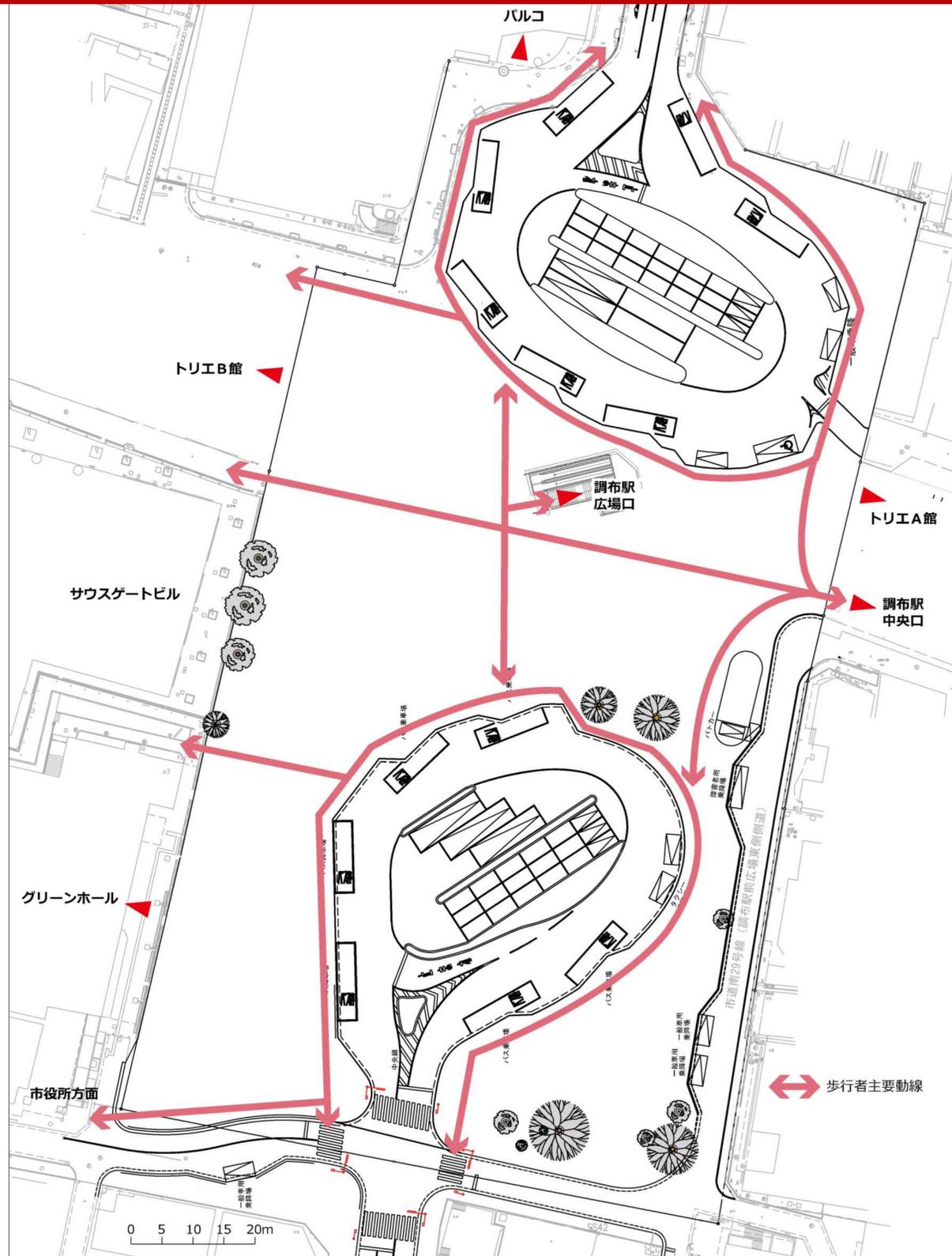
【特徴】

- 平日・休日ともに、特に**東西方向の通り抜けが多い。**
- 平日は、南北方向の通り抜けも多い。

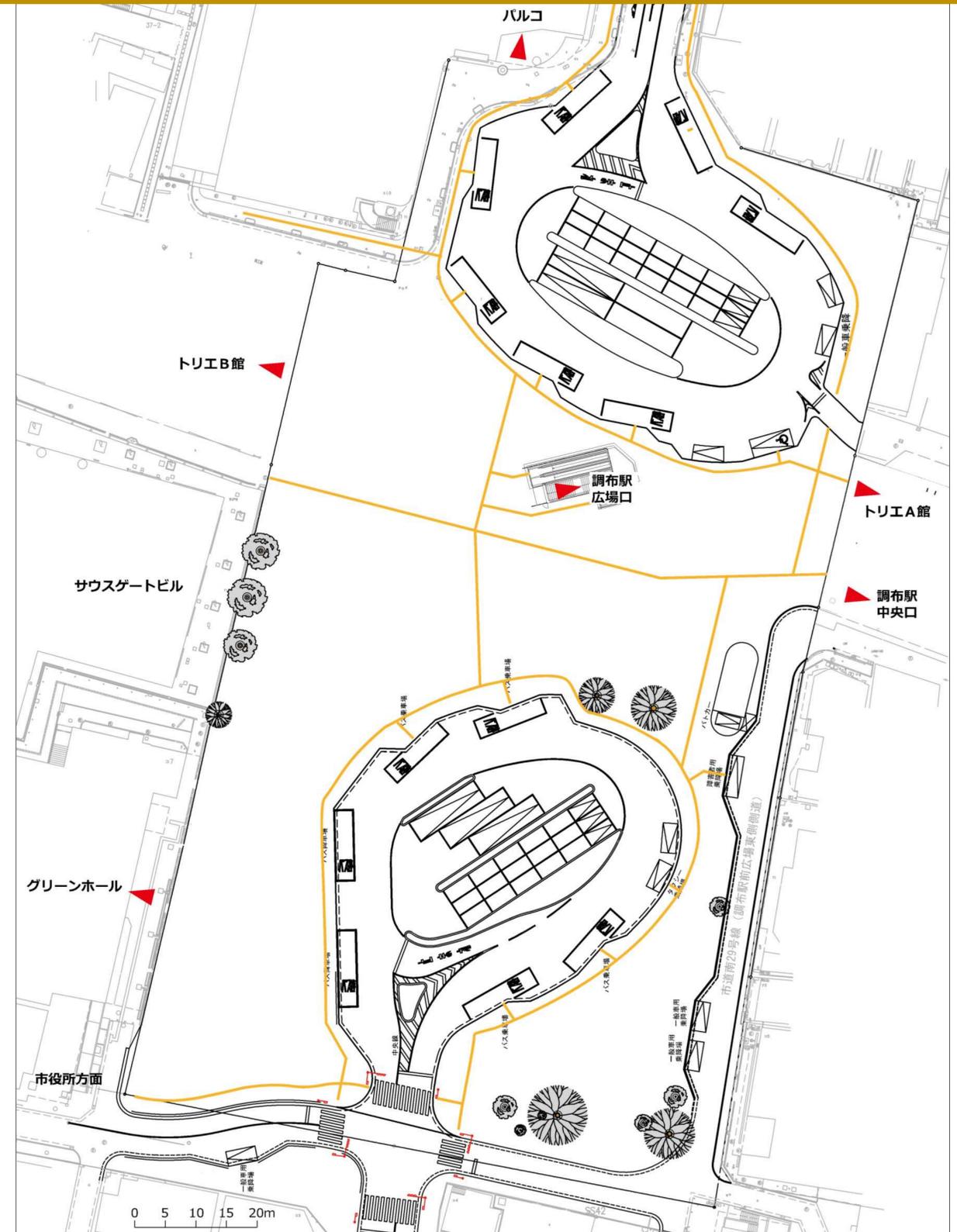
歩行者動線と誘導ブロックの配置について

○調布駅前広場行動調査の結果を踏まえ、調布駅から南北バスロータリーや商業施設(パルコ, トリエ), 駅周辺の公共施設(市役所, グリーンホール)をつなぐ経路を歩行者動線とし、歩行者動線上に、誘導ブロックを配置する。

歩行者動線案



誘導ブロック配置イメージ図



自転車通行空間の配置について 検討中

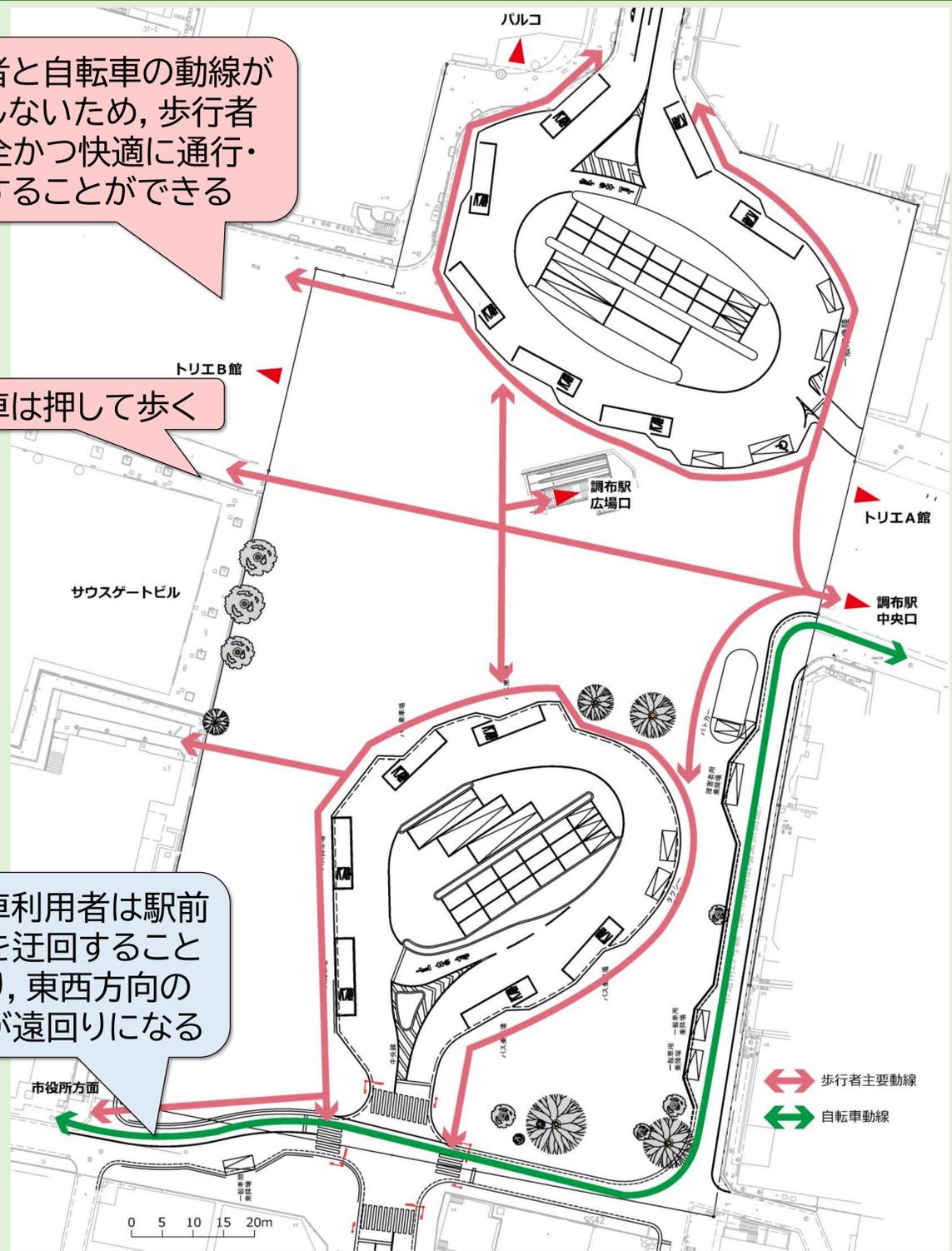
○自転車通行空間については、現在の調布駅前広場における自転車の通行状況を考慮しつつ、**駅前広場内の歩行者の安全性・快適性を確保**できるように配置を検討する。

① 自転車通行を禁止する場合 (駅前広場周辺の道路に自転車通行空間を確保)

○歩行者と自転車の動線が交錯しないため、歩行者が安全かつ快適に通行・滞留することができる

○自転車は押して歩く

▲自転車利用者は駅前広場を迂回することになり、東西方向の移動が遠回りになる



② 自転車通行空間を設置する場合

▲歩行者と自転車の動線が交錯し、接触事故等の発生が懸念される
(特に、調布駅広場口周辺)

○現在、自転車の通行が多い東西の動線を確保できる
(自転車利用者が最短距離で東西を横断可)

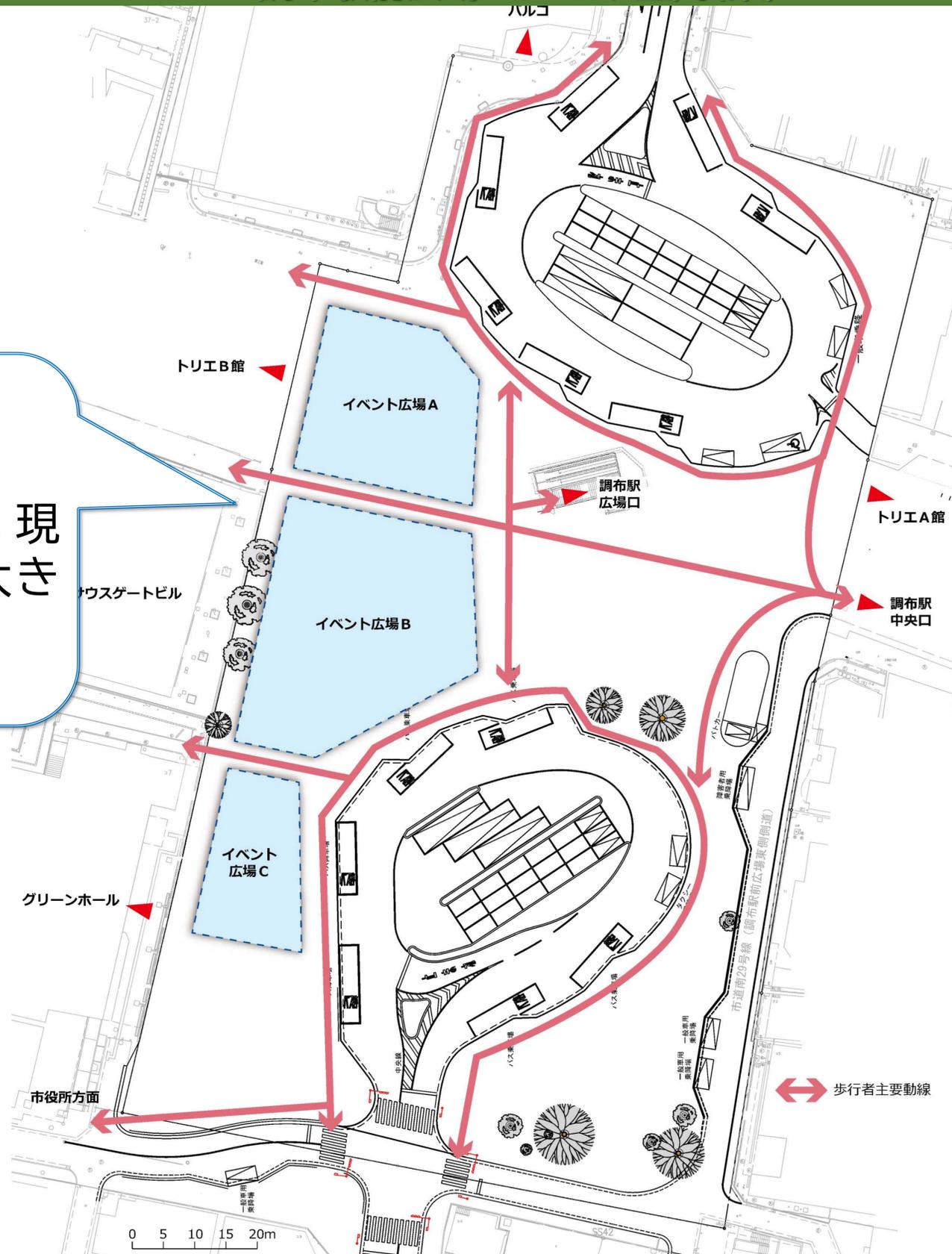


イベント空間の設定について

○歩行者動線や調布駅前広場周辺の空間特性をふまえ、イベント空間を設定した。

調布駅前広場 イベント空間(案)

合計 約2,000m²
イベント空間の大きさは、現在利用している空間の大きさとほぼ変わらない。



利用イメージ

日常の利用: マルシェ, イベント



ハレ(非日常)の場: パブリックビューイング



樹木の配置について

○調布駅前広場におけるゾーニングや各種動線(歩行者動線, 誘導ブロック配置等), イベント空間などの考え方を基に樹木配置をし, 既存樹木や市にゆかりのある樹木等を参考に樹種選定を行う。

樹木配置の考え方

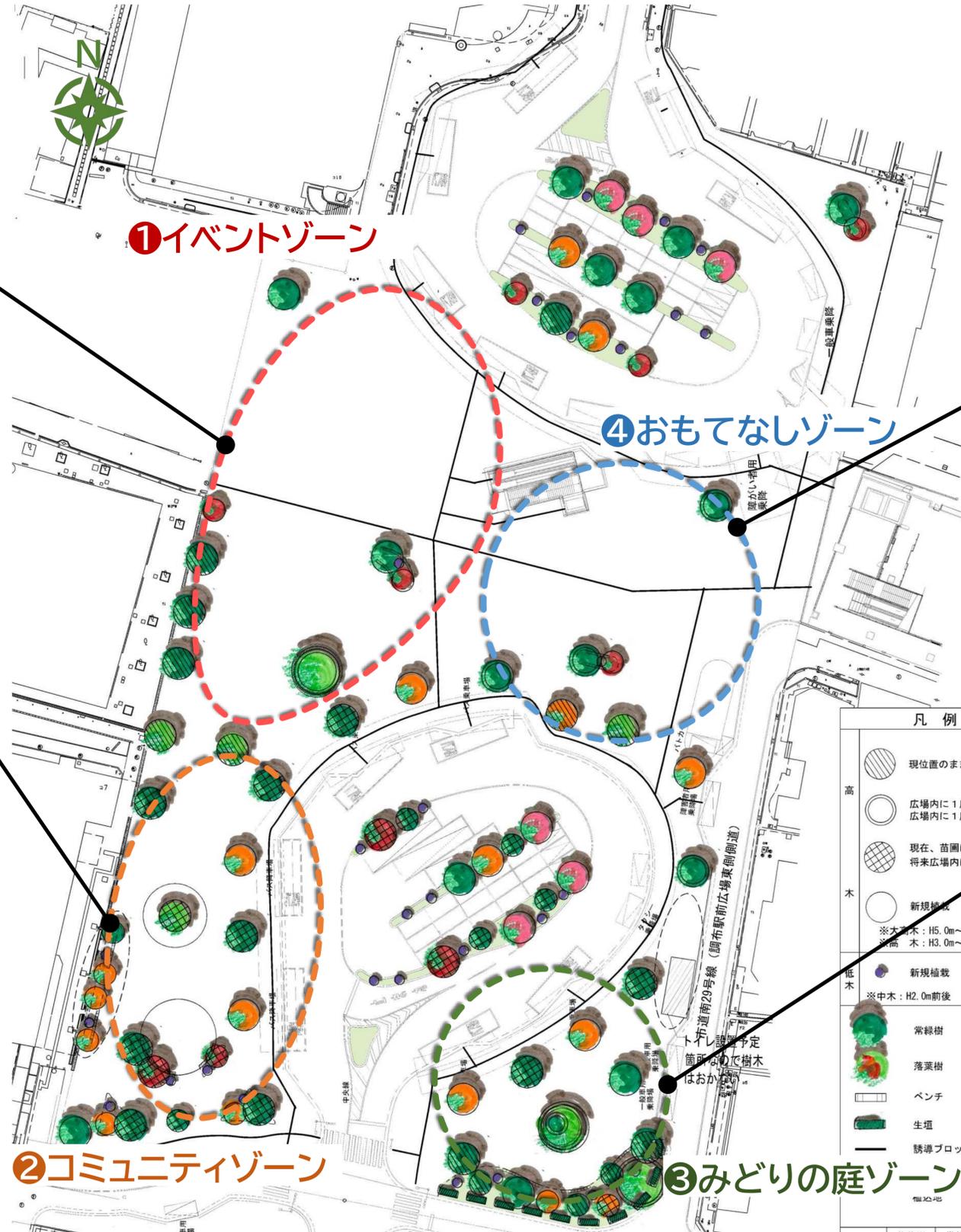
①イベントゾーン

- イベント空間として妨げにならないようにイベント空間を囲うように配置。
- サウスゲートビル前には, 広場の各所から大ケヤキが望めるよう配置。

②コミュニティゾーン

- 北側は, イベント空間として使用するため, 外側に多めに樹木を配置。
- 南側は, 木陰で家族や友人と憩えるように樹木にベンチを組ませたものを配置。

※芝生は広場内に設置せず, 植え込み地等を設けて景観を向上させる。



④おもてなしゾーン

- 広場の大ケヤキが見えるように樹木配置をしつつ, 木陰を創出するための高木を設置。その木陰にはベンチを設置。

③みどりの庭ゾーン

- 樹木に囲まれ憩えるよう, 樹木を多めに配置し, ベンチを配置。
- 周辺の建物と緩やかに分節するように植栽と生け垣を配置。

交通島

- バスやタクシーなどの運転の妨げにならないよう樹種を考慮し配置。

凡例	
高	現位置のまま残す樹木
高	広場内に1度移植樹木 広場内に1度移植する樹木
高	現在、苗圃にあり 将来広場内に戻す樹木
木	新規植栽
木	※大木: H5.0m~H17.0m ※高木: H3.0m~H5.0m未満
低木	新規植栽
低木	※中木: H2.0m前後
	常緑樹
	落葉樹
	ベンチ
	生垣
	誘導ブロック